

平成27年度
近畿地区子ども会育成研究協議会
報 告 書

テーマ「地域とこどもと、繋がって行こう！」



- <期 日> 平成27年12月5日（土）～6日（日）
13：30～翌12：00まで
- <会 場> KKRホテル大阪
- <主 催> 公益社団法人 全国子ども会連合会
近畿地区子ども会連絡協議会
一般財団法人 大阪府こども会育成連合会
- <後 援> 内閣府・厚生労働省・文部科学省・大阪府
大阪府教育委員会・NPO 法人大東市青少年協会

ご 挨拶

平成27年12月5日(土)～6日(日)、KKRホテル大阪に、近畿の1府4県・市町村・単位こども会指導者、育成者、その他こども会関係者、行政担当者、青少年育成関係者の約200名の参加をいただき、近畿地区こども会育成研究協議会を5年ぶりに大阪府こども会育成連合会が担当させていただきました。

近年の少子化や人間関係の希薄化により、こども会組織の減少が年々加速し、こども会の存続が危ぶまれる中、今こそ、こども会の意義を再確認し、大切にしていく必要があります。そこで今回の協議会を、「成功体験の共有」「課題点へのアドバイスを募る」場とし、参加者に新たな気づきを得てもらうため、大阪府大東市が実施する、他の地域ではあまり例のない「行政」「市こ連」「民間団体」の三位一体での運営方法を紹介したり、小学生の高学年のうちから未来の指導者育成を実施している団体をモデルケースとして提示するなど、様々な情報を交換し、こども会同士や地域間の交流を深めていただく機会を提供しました。参加者の皆様に「明日からまた子ども達のために頑張るで」という思いと「繋がるためのヒント」をお持ち帰りいただけたなら幸いです。

最後に、NPO法人 大東市青少年協会の皆様には、企画の段階から当日、事後報告に至るまで多大なご協力をいただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

近畿は一つを合言葉に来年は兵庫県でお会いしましょう。

一般財団法人 大阪府こども会育成連合会
理事長 石橋 寿恵夫



平成27年度 近畿地区子ども会育成研究協議会
開催要項
テーマ「地域とこどもと、繋がって行こう！」

1. 趣旨

近年の課題として少子化や人間関係の希薄化があり、こども会組織の現象が年々加速している。このままではこども会の存続が危ぶまれる中、今の時代にこそ、こども会の意義を再確認し、大切にしていかなければいけない。そこで近畿地区子ども会での『成功体験の共有』『課題点へのアドバイスを募る』場として、参加者は普段とは違う観点から情報を得ることで、新たな気づきを得る。大阪府の大東市が実施する他の地域ではあまり例のない『行政』『市こ連』『民間団体』の三位一体での運営方法や、小学生の高学年のうちから未来の指導者養成を実施している団体があり、1つのモデルケースとして提供できる。この研究協議会に参加し、今のこども会を取り巻く現状を理解し、より良いこども会の運営方法や、新たな気づきを地域に持ち帰り、実践してもらおう。さらにこども会同士や地域間の交流も深めて頂く機会を提供する。

2. 期 日 平成27年12月5日(土)～6日(日) 13:00～翌12:00

3. 会 場 KKRホテル大阪
〒540-0007
大阪府大阪市中央区馬場町2-24(大阪共済会館)
TEL:06-6941-1140 FAX:06-6941-5508

4. 主 催 公益社団法人 全国子ども会連合会・近畿地区子ども会連絡協議会
一般財団法人 大阪府こども会育成連合会

5. 後 援 内閣府・厚生労働省・文部科学省・大阪府・大阪府教育委員会
NPO法人 大東市青少年協会

6. 参加者 200名

- ①各府県・市町村・単位こども会指導者、育成者
- ②その他こども会関係者
- ③行政担当者
- ④青少年育成関係者



プログラム

<第1日 12月5日(土)>

13:00~受付



近畿地区1府4県の、青少年育成関係者、約200名が集まりました。

13:30~開会式・表彰式



14:15~

基調後援『あかりを灯そう!』

講師：NPO法人大東市青少年協会

五十里 斎 氏



受付で渡されるハガキサイズの名札には、大会中呼びあうニックネームが書かれています。

15:15~休憩

15:45~プロジェクトアドベンチャー

講師：緑の風工房 穂久 宗徳 氏

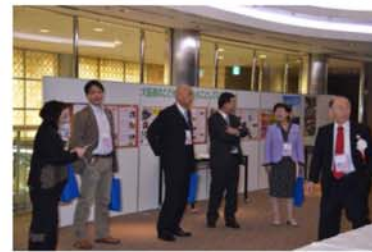


17:15~休憩・入室

18:00~情報交換会



20:00 1日目終了



<第2日 12月6日(日)>

9:00~1日目報告会 及び振り返り
プロジェクトアドベンチャー

11:30~総評・引継式・閉会式



12:00 2日目終了



ロビーに展示してある大阪府下の子ども会の活動報告に、いいね!シールを貼りました。

開会式 主催者挨拶



一般財団法人
大阪府子ども会育成連合会
理事長 石橋 寿恵夫



公益社団法人
全国子ども会連合会
副会長 野瀬 武敬



近畿地区子ども会連絡協議会
会長 安部 侃

来賓挨拶



大阪府政策企画部
青少年地域安全室
青少年課長
吹井 雅宣



大阪府教育委員会事務局
市町村教育室
地域教育振興課長
津田 清



司 会



特定非営利活動法人
大東市青少年協会
事務局長 牧田 恵美



表彰式



平成27年度 近畿地区子ども会育成研究協議会
 テーマ『地域とこどもと、繋がって行こう』
主催 公益社団法人全国子ども会連合会・近畿地区子ども会連絡協議会・一般財団法人大阪府子ども会育成連合会

平成27年度 近畿地区子ども会連絡協議会表彰式

- 兵庫県 5名
- 奈良県 1名
- 滋賀県 1名
- 和歌山県 2名
- 大阪府 5名



基調講演

演題『あかりを灯そう！』
～子どもの瞳に 若者の胸に～

講師 特定非営利活動法人
副理事長 五十里 斎 氏



青少年の健全育成に欠かせないのは、こども達を取り巻く社会です。いろんな地域、いろんな社会があり、その中でこどもをどう見守り育てていくのが大切です。大東市には野外活動センターがあり、青少年の健全育成に大切な体験学習を身近に取り入れる事ができます。心も体も成長期である青少年が様々な体験を通すことにより、自分の周りにはいろんな人間が存在し、いろんな考えがあり、それぞれが、それぞれの価値を認め合える事を知る。その事が自尊心を芽生えさせ、生きる力が育つのだと思います。「オールフォーキャンパス」を胸に、体験学習を通した青少年の健全育成について皆さんと考える時間を共有したいと思っています。

◆講演会スライド内容

<h2>現代の子ども</h2>	<ul style="list-style-type: none">・全国学力調査が毎年行われている。・これは全国の児童生徒の学力や学習状況を分析し、課題を発見し発展につなげる為におこなわれている。・しかし毎年60億円のお金が使われている。
<h3>子どもの貧困率</h3> <p>平均的な所得（549万円 平成22年度） の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の 子供の割合</p> <p>16.3% (6人に1人)</p>	<ul style="list-style-type: none">・こどもの学力には生活が関わっている。・平均的な所得の半分を下回る世帯が6人に1人いる。
<h3>就学援助率</h3> <p>子どもが学習していく上で必要な教材や給食、修学旅行などの援助</p> <p>全国平均 15.64% 大阪府 26.65% (4人に1人)</p>	<ul style="list-style-type: none">・就学援助を受けている率が大阪では4人に1人いる。・なぜこんな話しをするのかというと、学力テストを生徒に公表して競わせると言っていたが目的が違う。あくまでも研究の為の材料である。

- 学力とは：教室で、教科書から学ぶだけで向上していくものなのでしょうか？
他府県では、教室を出て様々な環境の中で学ぶ力を育てています。

<p style="text-align: center;">学力とは 全国学力調査 国語、算数、理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競争すれば学力が良くなるのか？ ・現場の先生はどうしても学力調査の授業に力を入れてしまう。 ・それだけが学力なのか？
<p style="text-align: center;">滋賀県 びわ湖フローティングスクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1983年～（33年目） ・全県の小学5年生 ・「湖の子」研修船 ・びわ湖環境教育 ・複数の学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県は湖の子という船を持っている。 ・琵琶湖の性質を調べたり、環境を調べている。 ・大事なのは一校ではなく複数の学校で泊まり、交流ができる。
<p style="text-align: center;">兵庫県 自然学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1988年～（27年目） ・全県の小学5年生 ・4泊5日（5泊6日） ・学習の場を教室から豊かな自然の中へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県は自然学校を行い、学校の場を教室から豊かな自然の中へ移して活動している。
<p style="text-align: center;">兵庫県 トライやる・ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1998年～（17年目） ・全県の中学2年生 ・1週間 ・体験活動（農林水産、職場、文化・芸術、ボランティア・福祉など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも阪神淡路大震災、神戸連続児童殺傷事件を経てトライやるウォークを心のサポートをする目的で兵庫県は始めた。
<p style="text-align: center;">大阪府</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: red;">?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府はこういった活動を何もしていない。 ・琵琶湖の水が淀川に流れ、大阪のみんなが飲んでいる。必要ではないのか？ ・人権教育には力を入れている。

- 子どもの欠損体験：現代の子どもたちに欠けている体験が5つあるといわれています。それらを体験できるのがキャンプです。日常を離れ、学校とも家族とも違う集団の中で、少しの困難を自然と向き合い仲間と協力して知恵を出し合い生活をともにすることで、欠けている体験を補う事が出来ます。

<p style="text-align: center;">子どもの欠損体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然接触体験の欠損 ・縦集団体験の欠損 ・自発的活動体験の欠損 ・社会参加体験、勤労体験の欠損 ・困難体験の欠損 <p style="text-align: center;">横山正幸 (福岡教育大学名誉教授)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの欠損体験が5つある。 ・40年前は4つであった。 ・時代によって変化はあるが現在の欠損体験は全てキャンプで行える。
<p style="text-align: center;">なぜ、体験できなくなった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親の子どもへの関わり方 ・都市化 ・核家族化 ・社会の価値観の変化 ・科学技術の進歩 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、体験出来なくなったかという色々あるが、大阪は急激な都市化が進み、自然がなくなった。
<p style="text-align: center;">NPO法人 大東市青少年協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人大東市青少年協会の紹介
<p style="text-align: center;">歴 史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府青少年カウンセラー認定講習 受講者 青年会 婦人会 子ども会・・・の代表 ・大阪府青少年カウンセラー 大東連絡協議会 講習後 月1回 自分たちで研修会 ・大東市青少年カウンセラー協会 ・NPO法人 大東市青少年協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府が青少年カウンセラー認定講習会を開いて、講習受講者で大阪府青少年カウンセラー大東市連絡協議会を立ち上げたのが始まり。
<p style="text-align: center;">青少年協会の組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会員・・・・・・・・・・113人 ・VL(ボランティア・リーダー)・ 18人 ・SL(シニア・リーダー)・・・・ 24人 ・職員・・・・・・・・・・ 9人 ・サポート会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年協会の組織紹介 ・現在は22歳以上の協会員 ・18歳～22歳のVL ・高校生のSL ・応援してくれるサポート会員で成り立っている。

- 特定非営利活動法人 大東市青少年協会が約40年の間に育てた、ジュニアリーダー（小学5年生）から大東アドベンチャークラブ（小学6年生から中学3年生）までのリーダーの数です。当協会の多様な人材の中でそれぞれが理想とする先輩をロールモデルにして、成長しリーダーとして活動を支えています。

<p style="text-align: center;">9,647</p> <p style="text-align: center;">何の数字かわかりますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「9647」は大東市青少年協会が育てたリーダーの数。
<p style="text-align: center;">ジュニアリーダー</p> <p style="text-align: center;">6,143人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生が参加するジュニアリーダー講習会。 ・小学6年生になった時に子供会で活躍できるようになる為の講習会 ・VL、SL が中心となって運営する。
<p style="text-align: center;">大東 アドベンチャークラブ</p> <p style="text-align: center;">3,504人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学6年生～中学3年生が参加する大東アドベンチャークラブ ・自分達で会を考え運営している。 ・ここを卒業して多くのメンバーがSLになり、リーダーとなって活躍している。
<p style="text-align: center;">ロールモデル</p> <p>子どもたちにとって、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あこがれの人 ・理想の人 ・私も、なれるかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールモデルが大切だと考えている。 ・子どもだけでなく、リーダーにとっても憧れの人、理想の人がいることが大切でその人を目指すことが大切。そして、自分もそういった存在になり、憧れられる人になっていく。
<p style="text-align: center;">人が成長する・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待をされている。 ・仕事を任される。 ・自分でやりとげる。 ・評価される。 ・ロールモデルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が成長するには、ロールモデルが必要になってくる。 ・期待し、仕事をし、やり遂げて評価するのを繰り返すことが必要である。

●組織キャンプ：私たちが変わることなく行ってきたのが、組織キャンプです。この活動を守るために当時ボランティア団体では珍しい、事務局を設置し、変わらぬ理念や思いを守り育てるよう運営してきました。

<p style="text-align: center;">組織キャンプ CD</p> <pre> graph TD CD --- PD CD --- MD PD --- GL PD --- PS MD --- MS </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年協会は組織キャンプでキャンプを運営している。 ・CD・・・キャンプを総括する役割 ・PD、MD・・・ねらいを管理し、キャンプ成功へのビジョンを描く。下の組織をまとめることも役割。
<p>ボランティアリーダーの思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PD、MDをやりたい。 ・責任とやりがい ・人間関係 ・指導した子どもの成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで先輩のしていた、PD や MD をしたいと思っている。 ・実際にしてみると自分に任されているということでやりがいを感じている。 ・指導した子どもが成長しているのを見てやりがいも感じている。
<p style="text-align: center;">内閣府 「子ども・若者を育成支援する活動」</p> <p style="text-align: center;">「チャイルド・ユースサポート章」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府のチャイルド・ユースサポート章を昨年受賞した。 ・基本的な理念が揺るがず「イキイキ生きる人と場を創ろう」という思いで青少年の健全育成を目指して青年キャンプリーダーと共に野外活動・体験活動を提供してきたことで受賞できた。
<p style="text-align: center;">専従の事務局員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と対等な関係 ・やってみて・・・実績 ・行政に認めさせる ・さらに、やってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年協会は、専従の事務局員を置くことで行政と協働関係を築いていけた。 ・やってみて、実績を出し、さらにやっていくことで関係が築けた。
<p style="text-align: center;">連 携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア（青少年協会） ・社会教育関係団体連絡協議会 ・大東市（生涯学習課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体と社会教育関係団体連携協議会と大東市の三者が密に連携をとることが大切。この三者が連携をとることで青少年の健全育成につながっている。 ・この関係があることで青少年協会は運営ができています。

- リーダーは、こども会のクリスマス派遣やキャンプで大いに活躍しています。各こども会から出して頂いたジュニアリーダーを育て、またリーダーとしてこども会で活躍するという循環を続けています。市やこども会等との連携無しにはできないシステムです。これからも理念を守り健全育成に努めて参ります。

市こ連との連携

- ・春の育成者研修会
- ・JL、DACの指導
- ・おまかせキャンプ
- ・リーダー派遣
- ・安全共済会の受付、府こ連のフェスティバルの作文の受付
- ・絵画の受付

土、日曜日、21時まで事務局

- ・市こ連との連携も行っている。
- ・育成者の研修会や子ども達を指導している。
- ・各種受付等、事務局をしている。
- ・21時まで事務局が開いているので、仕事をしている人も立ち寄りやすい。

All for Campers

- ・キャンプをしていると表舞台で活躍するメンバーや裏方で頑張るメンバーが出てくる。表で活躍するメンバーが目立つがみんなの力でキャンプが成り立っている。その気持ちを忘れない為に「All for Campers」を合言葉に活動している。

歴史は自分たちでつくる！

- ・社会教育の教育方法は一律ではない。教育委員会や市こ連と一緒にキャンプ運営をしてきて青少年の健全育成をしてきたと自負している。

課題

- ・リーダーの減少
- ・大学生の前期試験

- ・現在の課題は一緒に子どもの指導をしているリーダーの減少。昔に比べてリーダーをしたいという若者が減ってきている。
- ・大学生の前期試験が8月1週目まであり子ども達が夏休みになってもすぐには活動がしにくい。



- ・現在の協会で活動しているメンバーです。ロールモデルを繰り返すことで人が育っている。大東市の青少年だけでなく幅広い地域での活動をこれからも続けていく。

プロジェクトアドベンチャー



講師 NPO 法人大東市青少年協会 理事
緑の風工房 代表
穂久 宗徳

プロジェクトアドベンチャーとは、冒険を活動の柱にして、個人の成長とグループ内の人間関係づくりを支援する、アメリカが発祥の教育手法です。全人的な人間教育を目指し、現在ではアメリカを中心に、世界各地にプロジェクトアドベンチャーの普及を目指した教育団体があります。

今回はプロジェクトアドベンチャーの入り口を体験してもらい緊張を解きながら人が関わるきっかけを作っていました。それぞれ呼ばれたい名前を事前にお聞きし、その名前で呼ばれるようにしました。

○参加者が体験したアドベンチャー

◆勝ち3つ

チーム内でジャンケンを行い、3回勝った人から順に並んでいく。今回はジャンケンに勝てたらイネシールをもらい、3枚たまった人から並んで行った。



◆ラインナップ

チーム内でお題が出されて、お題通りに並び替える。今回は名前の順、家から会場までのかかった時間の順、円の中で近畿の地図をイメージして自分の住んでる地域の場所に立つ。



◆名前ゲーム

フニャボール等の当たっても痛くないボールを使い、「〇〇さん、(私は)△△です」と、ニックネームを伝えながら、相手が取れるようにボールをパスする。受け取ったら「△△さん、ありがとう。(私は)〇〇です」とお互いのニックネームを確認しあいながら、次々と別の人にパスしていき、呼び名を覚えていく。



◆4マスシート

紙を四分割にし、それぞれのマスに出されたテーマについての自分の思いや考えを書く。ペアを作りそのテーマについて話しをする。今回のテーマは①・呼び名・フルネーム・住んでる地域 ②・最近の嬉しかった事 ③育成者をしていて嬉しかった事④こども会活動を通して子どもたちにどんな経験をしてほしい?をマスに書き、チーム内でペアを作り語りあった。



情報交換会

大阪城の夜景を見ながら、プロジェクトアドベンチャーを行った時と同じグループで食事を楽しみながら、情報を交換しました。昼から活動を共にしていた事で、とても話が弾み笑い声がにぎやかに聞こえる良い会となりました。



●開会挨拶
一般財団法人
大阪府こども会育成連合会
副会長 村尾 佳代子



○乾杯
公益社団法人
全国子ども会連合会
副会長 野瀬 武敬

●各府県に出し物を提供していただきました。



●一般社団法人 兵庫県子ども会連合会 ↑

●和歌山県子ども会連絡会 ↓

●奈良県子ども会連合会



●滋賀県子ども会連合会 ↑



●一般財団法人 大阪府こども会育成連合会



●閉会挨拶
一般財団法人
大阪府こども会育成連合会
副理事長 河野 公一

2日目 プロジェクトアドベンチャー

プロジェクトアドベンチャーを通じて関係をほぐしてから意見交換を実施。

今回は参加者からテーマを募り5つのチームに分かれ話し合いを行いました。

◆会員を増やすのにはどうしたらいいのでしょうか？

◆リーダーとして中学生、高校生が楽しく参加できるか？

◆どうしたら行政や他団体と連携を作っていけるのだろうか？

◆関わってくれない大人のやる気を引き出す為にはどうしたらいいか？

◆子どもの参加率を上げるにはどうしたらいいか？

プロジェクトアドベンチャーを通じて関係をほぐした事もあり、皆様意見が出しやすく和気あいあいと、答えは出る事はなかったがそれぞれの情報を交換しました。

交換会で出た意見で発表した内容です。

◆会員を増やすにどうしたらいいのでしょうか？

→学校やPTA を巻き込んで会員獲得に動く

→入会者に友達がいないか協力を仰ぐ。

◆リーダーとして中学生、高校生が楽しく参加できるか？

→リーダー会議等を開き自分達がしたいことができる環境を作る。

→実施したことを評価してあげて達成感をもたせる。

◆どうしたら行政や他団体と連携を作っていけるのだろうか？

→絶えず、訴え続ける。

→行政の人にも行事に参加してもらい活動の素晴らしさを見てもらおう。

◆関わってくれない大人のやる気を引き出す為にはどうしたらいいか？

→役割を与えて、参加してもらおうきっかけを与える。

→その人の必要性を話して、参加しやすい環境を作る

◆子どもの参加率を上げるにはどうしたらいいか？

→子ども同士で声かけをして参加したいと思える環境を作る。

→一回、欠席した子でも参加しやすい環境を作る（欠席した子には電話連絡してあげる等）

と多くの場合はコミュニケーションが大事という話しあい結果となりました。



○参加者が体験したアドベンチャー



◆運命の握手

心の中で1～3の数字のうち1つ選びます。誰とでもいいので握手を行う。握手をする時に心の中で選んだ数字の数だけ、手を握ります。同じ数握手をする人と出会うまで握手を続ける。



◆命令ジャンケン

ペアになります。ペアになったメンバーでジャンケンをして勝った人が負けた人に対して指示を出します。今回の指示は周りのメンバーで指定したメンバーのもとへ行き、自己紹介をするという内容で行いました。



◆アイコジャンケン

まずは、ペアでジャンケンをします。ジャンケンをしてアイコになるとゲームクリアです。ペアがクリアできれば、4人組で行います。4人組でアイコになれば8人組と数を増やしていきます。何人組までできるかな？



◆ズーム

イシュトバン・バンニヤイ著の「ZOOM」を使っのアドベンチャー、この本にはストーリーはありますが、文字がありません。本を解体してバラバラになった絵を1人1枚持ちます。その時、他の人に見られないように、自分だけでよく見ましょう。そしてグループで並び替えを行い1つの本のストーリーを完成させましょう。今回は絵を見せながら順番に並び変えるのと、絵を見せずに並び変える2種類を行いました。



総 評

近畿地区子ども会育成研究協議会
滋賀県子ども会連合会
会 長 安部 侃



五十里先生の基調講演を聞いて、自分達の活動への自信は、どこから来たのかなと思いましたが、自分達が行いたい事を行政等に表明し、40年以上も活動を守り育ててきたという事が、あれだけの自信に繋がってきているのだと思い感銘を受けました。できればそういうことを我々も目指していきたいと思います。また、プロジェクトアドベンチャーでは種久先生のうまい話術と、人に入っていき話し方が素晴らしいと思いました。いろんな形があるとは思いますが、まずは人と接する手法を学んでいただきたいと思います。問題点の出し方、課題の作り方、答えまでは出ませんでしたが、人や地域でのコミュニケーションを取る方法は、今後非常に役立つと思いました。

現在、安全共済会の会員数が減少してきています。全国で目標は420万人ですが今年度は388万人の会員数になっています。会員数減少は今後の運営にもかかわって来ますので、ぜひ会員の増員をお願いします。また、安全共済会の報告で死亡事故が2件ありました。2歳と70歳の2名でしたが、今後事故など起こらないよう心がけて活動をしてほしいと思います。

社会を取り巻く環境は学校、家庭、地域があり均等な輪で連携してきましたが、今では学校が大きな輪で地域と家庭が小さな輪になってきているのが現状です。学校、地域、家庭との連携のために、もう一つの輪を作っていく事が必要だと思います。

引継式



一般社団法人 兵庫県子ども会連合会
会 長 揖場 攝

閉会式



一般財団法人 大阪府子ども会育成連合会
副理事長 河野 公一



木下大サーカス

おいしさと健康

Glico



「遊び」をテーマに設立された大阪府立の大型児童館

大阪府立大型児童館 ビッグバン

関西サイクルスポーツセンター

こころとからだに、
おいしいものを。

DyDo

株式会社 モンベル

びわ湖バレイ 
BIWAKO VALLEY

大阪観光局

公益財団法人 大阪観光コンベンション協会